カリキュラム

年齢別カリキュラム記述内容

◆カリキュラムの項目

◎６つに区分して示している

・０歳児（６か月未満・６か月から１歳未満・１歳から２歳未満）

・１歳児　・２歳児　・３歳児　・４歳児　・５歳児

【年齢別カリキュラム記述内容のポイント】

子どもの姿	※年齢（月齢）において、主な姿を記述している。
生命の保持・情緒の安定	※全ての年齢に「生命の保持・情緒の安定」を示している。 ※「保育者」が主語となっている。 ※幼児にとって安定した情緒の下で自己を十分に発揮することが大切である。情緒の安定には生命の保持は大前提のことであり、各年齢においてこの項を設けている。
ねらい	※年齢に応じて、生きる力の基礎となる心情・意欲・態度を示している。 ※「子ども」が主語となっている。
内容（健康　人間関係　環境　言葉　表現）	※年齢に応じて、子どもの発達にふさわしい経験をする内容を示している。 なお、０歳児保育に関しては５領域ではなく、 ○健康→健やかに伸び伸びと育つ（身体的発達） ○人間関係・言葉→身近な人と気持ちが通じ合う（社会的発達） ○表現・環境→身近なものと関わり感性が育つ（精神的発達） という３つの視点でねらいが定められている。また、３つの領域が重なり合い影響し合って、それぞれの側面が少しずつ育っていく。
環境構成	※年齢に応じた「ねらい・内容」が達成されるように、保育者が環境に対して行う働き掛けを「環境構成」として記述している。
家庭・地域との連携	※家庭・地域（小学校等）と各就学前施設の生活がつながり、発達に応じた育ちが促されるように連携の在り方を示している。

※「生命の保持・情緒の安定」及び「ねらい」の項目は、保育計画を作成する際、重要となるため、他の項目と字体を変えています。

伊丹市が大切にしたいこと

愛情
尊い命と異なる個性とのふれ愛

保育者の援助

❤愛情を土台とした援助として、各年齢の発達に応じてどのようなことに留意するのか、特に、各年齢に応じてどのような愛情をもって関わるのかという視点で記述。

自然
身近で豊かな自然とのふれ愛

自然とのふれあい

★どのようなことに気付き、動植物などの自然にどのように関わり、各年齢の発達に適した自然物や動植物、虫、花、草とはどのような物があるのか。

★園内外の自然との関わりにおいて、どのようなことができるか。
★春夏秋冬の自然に触れる、目を向けることを大切に考える。
★自然事象との触れ合いの機会をどのように設けるか。

ことば
豊かで美しいことばや表現とのふれ愛

言葉や表現とのふれあい

◆言葉が貧困だと表現が乏しくなる。心を豊かにする語り掛けが必要。
◆時間をかけてゆっくり育っていく…薫習（くんじゅう）
◆素話や絵本の活用。
◆年齢にふさわしい歌。
◆どのような語り掛けを心掛けるか、個々の表現をどのように支えるか、相手の話や相手の言葉にどのように興味を向けるか、また絵本や物語にどのような親しみ方ができるのか。

【絵本】
❤おすすめ絵本

【歌】
❤おすすめ歌遊び